

(19) Japan Patent Office (JP)  
(12) Unexamined Japanese Utility Model    (11) Utility Model Publication  
Application KOKAI Publication (U)                      S 60-143996

(51) Int.Cl.4  
F16M 13/00  
B44C 3/00

(43) Published on    September 24, 1985

-----  
(54) Title of the Invention: OBJECT STAND

(21) Japanese Utility Model Application No. S59-31780

(22) Application Date                      March 5, 1984

(72) Inventor                              Mamoru KATO

1901, Tokugawa-cho, Higashi-ku

Nagoya-shi

(71) Applicant                            NIHON PACK KABUSHIKI KAISHA

1901, Tokugawa-cho, Higashi-ku

Nagoya-shi

(74) Agent                                Fumio NAGAYA, Patent Attorney

BEST AVAILABLE COPY

**Claim 1. An object stand comprising:**

a keeper having a convex surface that forms a part of a spherical surface or a concave surface that forms a part of a spherical surface, the keeper being made of a magnet or a magnetic material, said keeper attracting a given object, and said given object being adapted to be attachable to a desired place through a base that is integrally formed with said keeper.

# 公開実用 昭和60— 143996

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60— 143996

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

F 16 M 13/00  
B 44 C 3/00

識別記号

庁内整理番号

7191—3G  
6671—3B

⑭ 公開 昭和60年(1985)9月24日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 置物等の保持台

⑯ 実 願 昭59—31780

⑰ 出 願 昭59(1984)3月5日

⑱ 考 案 者 加 藤 守 名古屋市東区徳川町1901番地  
⑲ 出 願 人 日本バック株式会社 名古屋市東区徳川町1901番地  
⑳ 代 理 人 弁理士 長 屋 文 雄

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

#### 置物等の保持台

### 2. 実用新案登録請求の範囲

保持部が凸凹の球面状態となっていて、かつ磁石もしくは磁性材料で形成されていて、さらに該保持部へ任意置物等を吸着して所望個所へ取付可能に保持座を設けてなることを特徴とする置物等の保持台。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は、水平面を含むあらゆる勾配を有する面へ、置物等を安定して、所望角度で確実に保持可能な置物等の保持台に関する。

従来任意勾配を有する面上に置物等を所望の角度で保持しうるものとしては、万能継手を利用するものしかなかったが、該万能継手の性格上着脱が困難で、一度置物等を飾ると事実上半永久的となってしまう、そのときどきの季節や気分等に合

わせて置物等を飾り換えるには適さないものであったし、万能継手を利用しないものは置物等を所望の角度に保持しえないうえ、自動車内等に載置した場合走行中の振動等で転倒するという不具合があった。

本考案は上記事実を考慮し、さわめて容易に飾り換え等が可能で、さらに任意勾配面にも所望角度で確実に保持しうる保持台を、安価に提供することを目的としてなされたものである。

すなわち本考案は、保持部が凸凹の球面状態となっていて、かつ磁石もしくは磁性材料で形成されていて、さらに該保持部へ任意置物等を吸着して所望箇所へ取付可能に保持座を設けてなることを要旨とする。

以下上記した本考案の要旨をさらに明確にするため、その一実施例をあげ図面を利用して説明する。

第 1 図は、その第 1 実施例を示したもので、磁

性材料で形成された保持台 1 a は、球形の保持部 1 1 a を腕 1 2 a を介して保持座 1 3 a から一体に延設されてなり、さらに該保持座 1 3 a には、任意の勾配面等に保持台 1 a を適宜固着するための釘孔 1 3 1 が穿設されている。

第 2 図は、第 2 実施例を示したもので、第 1 実施例と同じく磁性材料で形成された保持台 1 b は、部分球形の保持部 1 1 b が保持座 1 3 b より直接一体に突設されていて、さらに該保持座 1 3 b には、任意の勾配面等に保持台 1 b を固着するための釘孔 1 3 1 が穿設されていることも第 1 実施例と同様である。

第 3 図は、第 3 実施例を示したもので、磁性材料で成形された保持台 1 c は、球形の保持部 1 1 c をやや長い腕 1 2 c を介して保持座 1 3 c から一体に延設されていて、さらに保持座 1 3 c にも釘孔 1 3 1 が穿設されている。

第 4 図は、第 4 実施例を示したもので、磁性材

料で形成された保持台 1 d は、凹の部分球面状と  
なっている保持部 1 1 d が、腕 1 2 d を介して保  
持座 1 3 d から一体に延設されていて、さらに保  
持座 1 3 d にも釘孔 1 3 1 が穿設されている。

第 5 図は、第 1 使用例を示したもので、ピエロ  
型の置物 2 は、下面に保持部 1 1 a の球面に沿う  
凹球面の磁石 2 1 a をプラスチック等で形成され  
た座部 2 2 を介して固着されている。このため保  
持部 1 1 a および磁石 2 1 a は同曲率の凸凹の球  
面であるため、相互に任意の位置で接し吸着する  
ことになり、任意角度の勾配面に固着された保持  
台 1 a で置物 2 を所望の角度で確実に保持しうる  
のである。この使用例は、第 2 実施例、第 3 実施  
例の場合でも同様に使用しうることは勿論である。

以上四つの実施例の説明で明らかなように、置  
物等を所望角度に保持しうる許容角度は第 3 実施  
例が最も大きく、第 2 実施例が最も小さい。第 1  
実施例と第 4 実施例は共にこの中間の許容角度を

有する。また置物等のデザインを倒立方向でも観賞しうるものにするか、同曲率球面の磁石を置物等の上部にも固着しておけば、天井等から下向きの所望角度に保持することも可能となる。

第6図は、第2使用例を示したもので、置物等の下部からコイルスプリング23を介して磁石21aを固着したもので、とくに自動車内等に飾ると走行中の振動等でユラユラ揺れて乗車者の目を楽しませてくれる。また、その振動等により傾いたりすることもない。

第7図は第3使用例、第8図は第4使用例を示したもので、それぞれコイルスプリング23を介して磁石21bまたは、21aを固着してあって、その作用、効果は第6図で示す第2使用例と同様である。

以上説明したように、本考案による置物等の保持台は、保持部の球面曲率と置物等に固着される磁石の球面曲率を同一にしておけば、どんな組合



せも自由で、所望の時期に任意の場所へ所望の置物を、所望の角度で、きわめて容易に飾ることができるという、すぐれた特徴をもつ有用な考案といわねばならない。

なお本考案による置物等の保持台は、保持台と置物等のいずれの側を磁石としてもよく、また保持台を任意勾配面に固着するため、磁石または接着剤等によっても、本考案の要旨は何ら変更されるものでないことは申すまでもない。

#### 4. 図面の簡単な説明

図面は本考案置物等の保持台の一実施例を示したもので、第1図は本考案の第1実施例、第2図は第2実施例、第3図は第3実施例をそれぞれ示す一部破断正面図。第4図は第4実施例の正面縦断面図。第5図は第1使用例、第6図は第2使用例、第7図は第3使用例、第8図は第4使用例をそれぞれ示す一部破断正面図である。

1 a、1 b、1 c、1 d — — — 保持台、

- 7 -

1 1 a 、 1 1 b 、 1 1 c 、 1 1 d — — — 保持部、

1 3 a 、 1 3 b 、 1 3 c 、 1 3 d — — — 保持座、

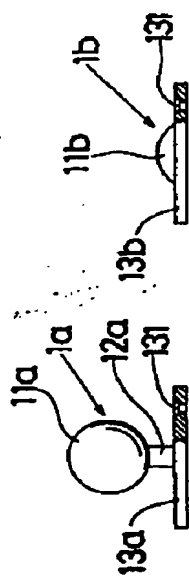
2. — — — 置 物、 2 1 a 、 2 1 b — — 磁 石。

実用新案登録出願人 日本パック株式会社

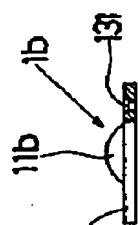
代 理 人 弁理士 長 屋 文 雄



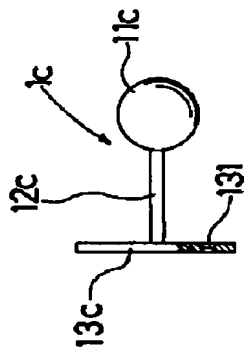
第 1 図



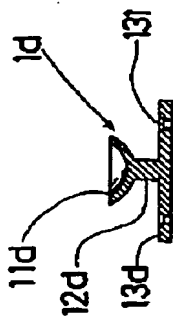
第 2 図



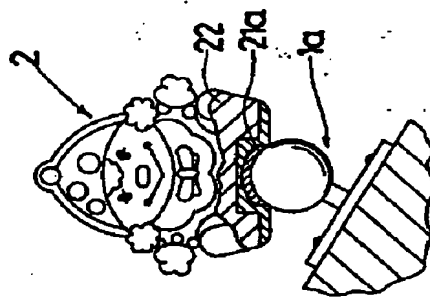
第 3 図



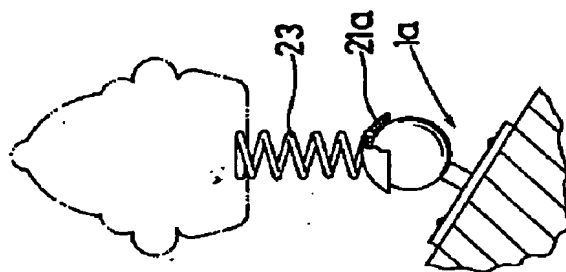
第 4 図



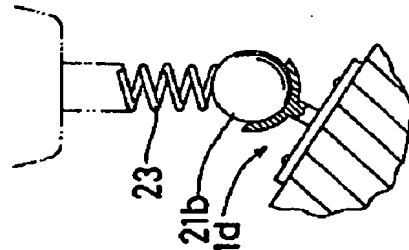
第 5 図



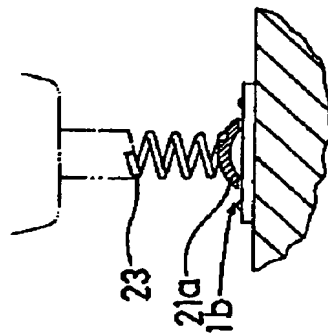
第 6 図



第 7 図



第 8 図



実用新案登録出願人

日本パナック株式会社

代理人

井理士 長 国 文 雄



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**